

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	上富福祉第 号
		決裁期日	平成31年3月5日
名 称	第5回上富良野町地域福祉計画策定委員会		
日 時	平成31年3月4日（火） 17時45分～19時40分		
場 所	保健福祉総合センターかみん 2階研修室		
出席者	(委員) 別紙名簿のとおり (出席委員14名、欠席委員1名) (役場) 向山町長、鈴木課長、武山主幹、末永主査、飯村主査、島田主事、大井主事		
内 容	<p>(町長挨拶) 数度にわたりご尽力いただいた策定委員会も今回で最後となった。これまで精力的に関わっていただき御礼申し上げます。通常国会の中でも様々な福祉問題がクローズアップされているが、我が町についても住んでいる方が今後も安心して暮らしていける事が最も重要な課題であり、全てに光を当て、陰となる所は作らない。地域が皆で支え合う社会風土が失われつつあるが、今後も福祉分野の推進に積極的に取り組んでいきたい。</p> <p>(町長は他用務のため退席。以降は会長の司会により議事進行。)</p> <p>議題</p> <p><b>1. 第3次上富良野町地域福祉計画について</b></p> <p>完成版として資料を事前に配布させていただいた。これまでの策定委員会で指摘いただいた修正点はすべて反映済みである。2月25日号の広報誌において、パブリックコメントに対する意見なしとして、掲載させていただいている。</p> <p><b>【意見等】</b></p> <p>(委 員) 計画内容はすごく良いと思う。「分野横断的な取り組み」を計画内で謳っているが、先日感じたことを紹介させていただく。障がい福祉の分野になるが、富良野圏域の難病対策協議会に参画しており、ALS（筋萎縮性側索硬化症）や様々な難病等に誰が罹っているといった情報を保健所が保有しているにも関わらず、役場側には個人情報問題を理由にして情報を一切開示していないことが話題になった。現状では保健所と役場との間に大きな壁があるが、組織間で福祉をよりよいものにしていくために、共通認識や情報共有を図っていただけると感じた。</p> <p>(事務局) 難病は障がいに含まれていると解しており、詳細な情報は個別計画を策定していく中でお聞きできる機会があればと考えている。</p> <p><b>2. 第3次上富良野町地域福祉計画概要（案）について</b></p> <p>厚生文教常任委員会に提示していた4ページ構成のものとは別に、内容を更に丁寧に説明するものとして8ページ構成として作成した。本日の委員会でご承認いただければ、今後の関係会議や住民会等の一般配布用として使用し、広く周知を図っていきたいと考えている。</p>		

# 会議等結果報告書

## 内 容

### 【意見等】

(委員) 3ページにある「健康かみふらの21計画」とは？

(事務局) 健康づくりについて示した計画であり、健康推進班が自ら検証評価を行っているため、本計画に関しては外部からの意見をお聞きする機会は設定していない。本町は住民の健康意識が高く、健診にも強い関心を示されているので受診率が70%超と高い水準を維持している。その一方で健康課題として、がん検診の受診率が上がらない点や女性のメタボが減らない点、喫煙率が減らない点を課題として拾い上げ、解決に向けた取り組みを進めてきている。

### ○ 第3次地域福祉実践プラン(案)について

現在、鋭意策定作業を進めているところであるが、第2次プランが策定に至らず、現在に至っていることについてお詫び申し上げたい。今後理事会、評議会を経てプラン策定となる見込み。

### 【意見等】

(事務局) 地域福祉実践プランは地域福祉計画と両輪の計画であるので、理事会、評議会を経た後のプランは、地域福祉計画策定委員にも提供願う。

### 3. ボランティアの今後について(別紙)

第4回策定委員会のグループ座談会において、ボランティアに対する様々な意見をいただいた。これを6つのテーマに分類し、特徴的な意見について紹介させていただく。賜った意見は社協のボランティア事業に反映できるよう検討を重ねていく。31年度に計画を具現化するにはニーズ把握が重要であるので、社協と保健福祉課相互でニーズに関するアンケート調査を実施する予定である。

### 【意見等】

(委員) 他の町でも高齢化が進み、ボランティア事業に出役できる方が年々減少している状況にあるが、何の対策も講じられていないように感じる。

(事務局) 有償ボランティアの実現に向け、次年度は更に検証を重ねていきたい。併せて現在の担い手の満足度がどの程度なのか、新たな担い手の確保に向けてどのような手段や方策が考えられるのかも探っていきたい。

(委員) 担い手の高齢化が進んでおり、次年度からは出来ないと言われる方がたくさんいる。士別市はスタンプ方式で、スタンプ帳が一杯になったら500円の買い物ができるという内容で有償ボランティアを暫定的にスタートさせたが、運営には難しさを感じていると聞く。人口推移を見ると少子高齢化の進展によって、どの職場も働き手の確保に苦労しているという状況が見てとれる。これからも、働く世代が減少傾向で推移していくことは明白であるし、働き手の売り手市場となることが想定されるのに、あえて若い世代がボランティアを選択するのかという疑問がある。それならば、リタイアした世代をターゲットとする方が現実的であり、人も集まるのではないか。

(事務局) 昔はある年代に到達すると、次の世代に譲り高齢者は身を引くといった風潮があったが、今はそういう時代ではない。高齢者でもイコール弱者ではないし、

## 会 議 等 結 果 報 告 書

### 内 容

若くても弱者はいる。

(委 員) 人集めも仰々しくすると受け側が構えてしまう。気軽に話し合いの中で「ボランティアはどうですか?」と出せるような雰囲気があればよいのだが。組織を立ち上げ、立派なことをする。それだけがボランティアではない。

(委 員) 仕事をしているからボランティアが一切出来ないというのは、私の感覚からすると少し違う。仕事の空いた時間、僅かでも関わればそれもボランティアだし、「僅かでもボランティアに関わりたい」という気持ちや姿勢が何より大切だと思う。昔は地域の行事に関わったり、お酒を酌み交わすなどの機会から人づくりや人の繋がりができ、そこからボランティアへ繋がる道筋があった。今は地域の繋がりができる機会自体が失われつつある。町内でお悔みなどがあつたら、葬儀手伝いなど地域でワイワイとやったものだが、そういった機会も現在ではほぼ無くなってしまった。若い世代と高齢者世代の間に断層が出来ていて、各地域の大きな悩みとなっている。異業種交流なども良いが、企画の時点からの仕掛けづくりが必要。今の住民会では、自分から行動しない限りなかなか声が掛からない。若い年代を引き込むためには、受け側の土台作りから始める必要があるのではないか。若い世代が、せめて住民会活動に顔を出してくれたら・・・。

(委 員) 高齢者と子どもなど、各年代が交わって交流できれば良いのだが、町内にそういった交流に対応出来る場所はあるのか。仮に、地域で管理する会館をそういった目的で施設利用させていただけないのかと思う。昔は各家庭を一単位として、近所の人が集まって交流するようなこともあつたと思うが、近所づきあい自体が希薄になっている。共稼ぎなどボランティアに関わる事が難しい方が増えているが、ボランティア意識を醸成するような場や、住民相互が交流を深めることが出来る場などがあつても良いのではないか。

(委 員) 先日のまちづくりフォーラムに関わつたが、ワールドカフェ方式で色々な方と話すことが出来て楽しかった。ボランティアをテーマにして、同様の方式で企画開催すれば、そこそこ人が集められると思う。

(委 員) 近所の高齢者宅の除雪をやってあげようと声掛けしたら、事業団にお願いしているとのことでお断りされた。ボランティアに携わる気持ちがあつても、自分の中で満足できるものがないと、次に繋がっていかない。

(委 員) 防災上の観点からも地域内のことはある程度、地域内で守るような体制づくりが必要である。災害時に犠牲者を出さないためにも。

(委 員) ボランティアセンター主催の「雪の困りごとを考えるシンポジウム」に参加した。費用的には嵩むが、雪対策にある程度の予算を割くのも一つの手だと感じた。

(事務局) ここ数日、寒気が緩み屋根からの雪が急に落ちてくる状況となった。災害ボランティアについてもそうだが、いつ何時何が起こるのかという予測が必要。各委員から様々な意見をいただいたが、次年度にはボランティア事業の推進に向け、方策を具現化していかななくてはならないという思いを新たにしたところである。

(会議終了 19 : 40)

上富良野町地域福祉計画策定委員会委員名簿

平成 30 年 7 月 11 日から平成 31 年 3 月 31 日

区分	所属団体・機関等の名称	氏 名	3月4日 出 欠
障害者団体	上富良野町身体障害者福祉協会 副会長	山 本 秀 男	○
	手をつなぐ親の会 会長	佐 藤 祥 一	○
	つばさ会 会員	宮 崎 守	○
	NPO法人 なないろニカラ 代表理事	二 宮 利 和	○
福 祉 団 体	上富良野町社会福祉協議会 事務局長	角 波 光 一	○
	社会福祉法人わかば会 理事 (ケアハウスかみふらの施設長)	谷 口 靖	○
	社会福祉法人富良野あさひ郷 特別養護老人ホーム北の峯ハイツ 生活支援課長	檜 野 真由美	○
	ボランティアセンター運営委員会 委員長	川 鍋 まさ子	○
その他団体	上富良野町女性団体連絡協議会 副会長	村 上 孝 子	○
	上富良野町老人クラブ連合会 副会長	芳 賀 実	○
	上富良野町民生児童委員協議会 会長	山 本 勉	○
	上富良野町商工会青年部 部長	加 藤 雅 也	×
	上富良野町住民会長連合会 会長	巽 俊 明	○
町 民 公 募	公募委員	谷 江 彩也子	○
	公募委員	高 橋 美 来	○